

# オープンフォーラム

【テーマ】「医書電子化検討ワーキンググループの活動の紹介」

【要 旨】

医書電子化検討ワーキンググループ（以下、WG）は 2014 年度に発足し、日本医書出版協会（以下、JMPA）電子出版委員会メンバーと、国内医書の電子化について意見交換を続けてきた。出版団体と図書館団体が、定期的に意見交換を続けることは、あまり見られることではない。それが 5 年以上続いているということは、国内医書の電子化は JMPA と JMLA にとって重要なテーマだからであろう。

それにも関わらず、医学図書館向けの電子ブックサービスが実現していないのはなぜなのか。会員の多くが、そう思われていることであろう。医書電子化検討 WG では、実現に向けていろいろな提案を投げかけてきた。JMPA も我々の提案をうやむやには扱わず、真摯に検討してきた。それでも未だ実現できない背景には、出版社としての苦悩が垣間見られた。このような悶々と続けてきた意見交換の実情を、まずはご紹介したい。

一方で、JMPA とはアンケートや分科会などいくつかの協働事業を行うこともあった。これらも突然降って湧いた話ではなく、意見交換から出た賜物である。この経緯もご紹介したい。

このように日頃謎に満ちている医書電子化検討 WG の活動を、このオープンフォーラムを機に、会員と共有したいと考えている。

【司 会】

東邦大学医学メディアセンター

児玉 関

【発表者】

医書電子化検討 WG メンバー